

【視察調査報告書】

会 派 名	日本共産党八王子市議会議員団
参 加 議 員	鈴木勇次、石井宏和、市川克宏、望月翔平、綿林夕夏 以上5名
日 程	令和 5 年 (2023 年) 7 月 4 日 (火) ~7 月 6 日 (木)
詳 細	
視察日及び視察先	7 月 5 日 (水) 北海道 羅臼町
視 察 内 容	いきいき地域提案型事業の取り組み、および補助金制度について
概 要	<p>まちづくり活動や地域を活性化させるための事業を応援するために、活動費や資材等の経費を町の予算範囲内で補助する制度です。</p> <p>これまでの補助対象事業数の実績は、平成 17 年から令和 4 年度まで 97 件 (年平均 4~5 件) です。事業内容としては、①まちづくり人材育成・研修・交流事業 (例：全日本司厨士協会による羅臼高校フードデザイン事業)、②個性的なまちづくり振興事業 (例：おさかな石鱈商品化事業)、③地域より提案された事業 (例：町会館屋根ペンキ塗装)、以上 3 つの分類があります。</p>
所 感 等 (意見・課題・ 本市への反映など)	<p>本市においても八王子ビジョンの中に「協働のまちづくり」が掲げられていますが、羅臼町の取り組みは、行政と市民との協働とはどういうことなのかを考える上で有効な事例と感じました。</p> <p>事業のきっかけとして、行財政改革の断行が背景にあったというお話しにとっても驚きました。スタートアップのための補助金、という意味合いが強く、不足している部分をサポートする観点で取り組んでいるそうです。</p> <p>申請の採択のために、かかわりのある複数の課の長で構成された補助金選考委員会がつくられ、5 つの視点にて採点方式で評価をします。申請を出すまでの間に、住民が申請の相談に来た段階で、窓口で担当した職員が 5 つの視点を紹介しながら「どうしたら補助金が使える事業になるか」をアドバイスしたり、一緒に考えたりしているという職員の話しが印象的でした。</p>
視察の様子	
	
左写真：視察研修時に撮影	右写真：羅臼町議場にて撮影